

界面選択的非線形分光法による界面研究の最前線

二本柳聡史 専任研究員

理化学研究所開拓研究本部田原分子分光研究室 &
光量子工学研究センター

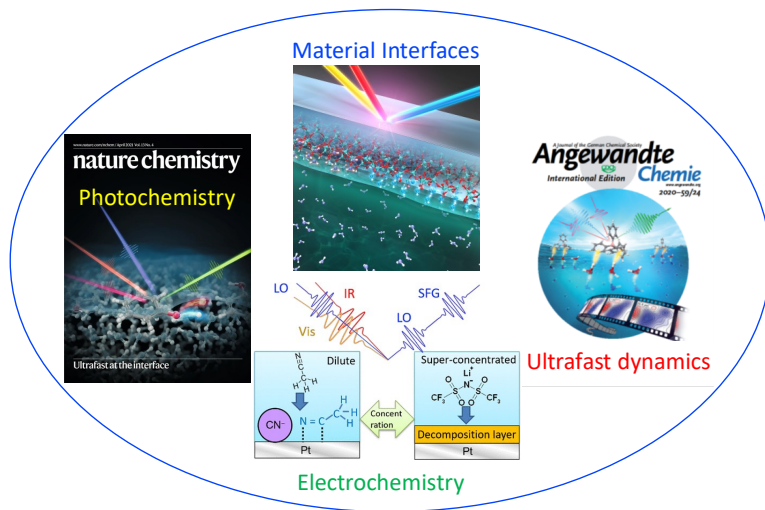


日時： 2023年8月3日(木) 16:45~18:00

場所：北海道大学大学院地球環境科学研究院 D201 講義室

Abstract :

科学の目ともいわれる分光学は物質科学研究において重要な役割を担う。特に、界面は不均一系科学を理解するうえで重要であるが、その複雑さと直接観測の難しさからほとんど理解されておらず、いまだに多くの場合ブラックボックスとして扱われている。二次的非線形光学に基づく分光法は原理的に界面選択性を有するため、その開発当初から界面物質科学への貢献が期待されていた。我々の研究グループでは、位相敏感な検出方法やポンププローブ法と組み合わせた新しい界面選択的非線形分光法を開発し、様々な新規界面分光測定を実現してきた。本講演では、気液界面における光化学反応ダイナミクスの直接観測および電極溶液界面の観測例について紹介する。



※本講演は環境物質科学特別講義 I「分光学の基礎と応用」の一部として開催します。

主催：北海道大学大学院環境科学院

共催：公益社団法人日本化学会 北海道支部

物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム
スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム(SMatS)



連絡先：世話人 北海道大学大学院地球環境科学研究院 八木 一三 (TEL:011-706-4526)